

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院泌尿器科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2010年4月1日 ～ 2030年3月31日の間に、膀胱癌がんのために虎の門病院泌尿器科に入院・通院し、膀胱癌に対する治療を受けられた方

### 【研究課題名】

非筋層浸潤膀胱癌における術後再発予防に関する包括的研究

#### 【研究の目的・背景】

##### 《目的》

膀胱癌に対する術後予防治療に対する効果を検討します

##### 《研究に至る背景》

膀胱癌は一般的に非筋層浸潤癌から進展し、筋層浸潤癌に対しては基本的に膀胱全摘術が適応となります。膀胱全摘は代用膀胱を必要とし術後のQOLに大きな影響を及ぼします。非筋層浸潤癌からの再発進展を予防することが非常に重要です。近年さまざまな予防治療が提唱されており、エビデンスのアップデートが必要な状態です。患者個別の最適治療を提案できるよう、包括的研究が必要とされています。

### 【研究期間】

2025年7月24日 ～ 2030年7月31日

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 10年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

### 【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、心電図、MRI・CT等の画像データ、薬歴、看護記録、病理データ

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：虎の門病院 ・ 浦上 慎司

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2030年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 泌尿器科 浦上 慎司・阪口 和滋

電話 03-3588-1111(代表)